

令和2年度学校自己評価システムシート (県立大宮中央高等学校)

目指す学校像	多様な学習システムを提供し、生徒一人一人の自己実現を助け、思いやりのある情操豊かな人間の育成を図る。
--------	--

重点目標	1 自ら学ぶ力や人生を切り拓く力を育成する。 2 地域等と連携し、豊かな心や自立して生きる力を育成する。
------	---

※ 重点目標は3つ以上の設定も可。重点目標に対応した評価項目(年度達成目標を意味する。)は複数設定可。
 ※ 番号欄は重点目標の番号と対応させる。評価項目に対応した「具体的方策、方策の評価指標」を設定。

達成度	A	ほぼ達成(8割以上)
	B	概ね達成(6割以上)
	C	変化の兆し(4割以上)
	D	不十分(4割未満)

※学校関係者評価実施日とは、最終回の学校評価懇話会を開催し、学校自己評価を踏まえて評価を受けた日とする。

出席者	学校関係者	6名
	生徒	3名
	事務局(教職員)	15名

学 校 自 己 評 価						学校関係者評価		
年 度 目 標				令 和 2 年 度 評 価 (2 月 7 日 現 在)				
番号	現状と課題	評価項目	具体的方策	方策の評価指標	評価項目の達成状況	達成度	次年度への課題と改善策	
1	【通信制の課程】 ①多くの生徒は、学習に前向きに取り組んでいるが、学習に難しさを感じている生徒もいる。 ②進路希望実現のために、外部の教育力の活用を図り、進路意識を高める必要がある。	①生徒が意欲的、計画的に学習を進められるよう指導法を改善する。 ②生徒が進路希望を実現できるようキャリア教育を改善する。	①生徒が意欲的に授業に取り組めるように、レポートや授業、連絡方法について、工夫、改善するとともに、質問、補習等の体制を充実させる。 ②学習サポーター、ハローワークなどの外部の教育力の活用を推進する。	(参考昨年度数値) <input type="checkbox"/> 学習手帳や学習ガイドブック、受講ガイドブックを活用している生徒の割合 83.3% <input type="checkbox"/> 授業やスクーリングに意欲的に取り組んでいる生徒の割合 86.2% <input type="checkbox"/> 学力の伸長を実感できた生徒の割合 71.8% <input type="checkbox"/> 進路実現や高校卒業に向けて積極的に取り組んだ生徒の割合 60.8% <input type="checkbox"/> 単位修得率の向上 <input type="checkbox"/> 卒業時の学校満足度の向上 95.6%	生徒アンケートの結果、手帳・ガイドブックの活用以外はすべてマイナスである。新型コロナウイルス感染症対策の影響と考えられる。 ※①から⑩は3課程の生徒アンケートの数値である。 ①手帳、ガイドブックの活用 84.6% (前年比+1.3) ②授業への意欲的な取組 79.0% (-7.2) ③学力伸長の実感 69.1% (-2.7) ④進路決定への積極的な取組 53.9% (-6.9) ⑩学校満足度(総合) 91.9% (-3.7)	B	①今年度導入した Google Classroom を本格的に活用し、ICT教育を推進し、生徒の主体的な学習態度を構築したい。 ②外部教育力のより効果的な活用のために、生徒のニーズの把握に努める必要がある。 ①通信制のシステムが有効活用されるために整備した単通メール等を中心に、生徒や保護者間のコミュニケーションを図り、ICT教育を含めた教育活動の充実が課題である。 ②学校行事の工夫を行い、生徒会活動や部活動を継続したい。また、学習サポーターや就職支援アドバイザーの活用をさらに充実させていくことが課題である。	
	【単位制による通信制の課程】 ①通信制教育システム、かつ、学力差が大きい中、いかに学習習慣をつけさせるか。学力状況をどう把握・分析し、最適な学習を指導するかが課題。単位修得率の向上や卒業生数のさらなる増加が必要である。 ②特別活動や進路指導を通して、卒業後の自立につながるようにしていくことが必要である。		① 様々な講座を開設し、生徒の学習希望や需要に対応するとともに、新型コロナウイルス感染症対応を含めた社会の要請に適切に対応しつつ本課程の教育システムの持続可能性を高める。 ② 履修指導、面談、進路に関する説明会等の機会を活用して、生徒の進路意識を高め、自ら行動を起こせるように支援する。	<input type="checkbox"/> マナーある行動、けじめのある学校生活を送っている生徒の割合 98.1% <input type="checkbox"/> 自分のよさや課題を理解し、自分の力を伸ばそうと取り組んでいる生徒の割合 67.9% <input type="checkbox"/> 特別活動 ・参加率 32.1% ・満足度 95.3% <input type="checkbox"/> 部活動 ・参加率 17.7% ・満足度 91.9% <input type="checkbox"/> 思いやりの気持ちを持ち、他の人に対する気配りができる生徒の割合 94.7%	行事については、参考となる回答が得られなかった。マナーやけじめなどの規範意識向上については健闘した結果である。 ⑤マナーやけじめのある学校生活 94.4% (前年比-3.7) ⑥自己理解、力を伸ばす取組 66.0% (-1.9) ⑦学校行事参加率/満足度ともデータ不足により評価できず。 ⑧部活動参加率/満足度 9.4% (-8.3) / 84.8% (-7.1) ⑨思いやり、気配りができる 90.7% (-4.0)	A	①HRの時間が限られているため、巡回指導等を有効に実施し、生徒の規範意識だけでなく、自己肯定感等を高める良い機会にしていきたい。 ②コロナ禍での学校行事について、検討しなければいけない。教育相談体制は整っており、今後も一人一人の生徒への個別の支援が求められる。 ①生徒の自立・自律を支援する教育相談などを有機的に実施する。また養護非常勤の意義を検証し、継続していきたい。 ②学校説明会や入学相談等においては引き続きHPを活用して、さらに実効性を高めていくことが課題である。	
	【単位制による定時制の課程】 ① 様々な課題を抱えた生徒が在籍し、各々の生徒の学習需要が異なることから、各教科、分掌が連携して一人一人の生徒にきめ細かな指導をしていくことが求められる。 ② 生徒の進路意識の一層の向上を図るとともに、進路決定に向けた積極性を培うことが必要である。		① 生徒の規範意識を向上させる。 ② 社会的自立に向けた多様な学びの場を提供する。	①「学びたい意欲」を大切にし、よりよい学習環境を実現するために全教職員が個々の生徒の状況を踏まえつつ、共通理解を持ち指導にあたる。 ②地域や保護者への発信を積極的に行い、また、地域や学校内外の人材を活用し、教育相談の視点からの生徒への支援を充実することで、生徒の学ぶ意欲を支える。	<input type="checkbox"/> 卒業時の学校満足度の向上 95.6%	①HRの時間が限られているため、巡回指導等を有効に実施し、生徒の規範意識だけでなく、自己肯定感等を高める良い機会にしていきたい。 ②コロナ禍での学校行事について、検討しなければいけない。教育相談体制は整っており、今後も一人一人の生徒への個別の支援が求められる。 ①生徒の自立・自律を支援する教育相談などを有機的に実施する。また養護非常勤の意義を検証し、継続していきたい。 ②学校説明会や入学相談等においては引き続きHPを活用して、さらに実効性を高めていくことが課題である。		
2	【通信制の課程】 ①②特別活動や行事をとおして意欲的な学校生活、そして、自己実現を図らせたい。また、個に応じた教育相談体制を充実させる必要がある。	①生徒の規範意識を向上させる。 ②社会的自立に向けた多様な学びの場を提供する。	①巡回指導を実施し、生徒への声かけを行い、規範意識の向上を図る。 ②学校行事に多くの生徒が参加できるように日程、内容、周知方法等を検討する。また、教育相談室の活用を進める。	<input type="checkbox"/> マナーある行動、けじめのある学校生活を送っている生徒の割合 98.1% <input type="checkbox"/> 自分のよさや課題を理解し、自分の力を伸ばそうと取り組んでいる生徒の割合 67.9% <input type="checkbox"/> 特別活動 ・参加率 32.1% ・満足度 95.3% <input type="checkbox"/> 部活動 ・参加率 17.7% ・満足度 91.9% <input type="checkbox"/> 思いやりの気持ちを持ち、他の人に対する気配りができる生徒の割合 94.7%	行事については、参考となる回答が得られなかった。マナーやけじめなどの規範意識向上については健闘した結果である。 ⑤マナーやけじめのある学校生活 94.4% (前年比-3.7) ⑥自己理解、力を伸ばす取組 66.0% (-1.9) ⑦学校行事参加率/満足度ともデータ不足により評価できず。 ⑧部活動参加率/満足度 9.4% (-8.3) / 84.8% (-7.1) ⑨思いやり、気配りができる 90.7% (-4.0)	A	①HRの時間が限られているため、巡回指導等を有効に実施し、生徒の規範意識だけでなく、自己肯定感等を高める良い機会にしていきたい。 ②コロナ禍での学校行事について、検討しなければいけない。教育相談体制は整っており、今後も一人一人の生徒への個別の支援が求められる。 ①生徒の自立・自律を支援する教育相談などを有機的に実施する。また養護非常勤の意義を検証し、継続していきたい。 ②学校説明会や入学相談等においては引き続きHPを活用して、さらに実効性を高めていくことが課題である。	
	【単位制による通信制の課程】 ①生徒や保護者、地域への発信を強化し、信頼関係に基づく指導や協力関係が行えるようにすることが課題である。 ②単通課程の特色、他課程との違いを対外的に周知することが課題である。		① 生徒の規範意識を高め、学習に向かう姿勢を育てていくために、引き続き全職員が共通の認識をもって生徒の指導に当たることが重要である。 ② 教育相談体制の整備により、生徒への支援は充実しているが、様々な背景を持つ生徒も多く支援をさらに充実させることが求められる。	①「学びたい意欲」を大切にし、よりよい学習環境を実現するために全教職員が個々の生徒の状況を踏まえつつ、共通理解を持ち指導にあたる。 ②地域や保護者への発信を積極的に行い、また、地域や学校内外の人材を活用し、教育相談の視点からの生徒への支援を充実することで、生徒の学ぶ意欲を支える。	<input type="checkbox"/> 卒業時の学校満足度の向上 95.6%	行事については、参考となる回答が得られなかった。マナーやけじめなどの規範意識向上については健闘した結果である。 ⑤マナーやけじめのある学校生活 94.4% (前年比-3.7) ⑥自己理解、力を伸ばす取組 66.0% (-1.9) ⑦学校行事参加率/満足度ともデータ不足により評価できず。 ⑧部活動参加率/満足度 9.4% (-8.3) / 84.8% (-7.1) ⑨思いやり、気配りができる 90.7% (-4.0)	A	①HRの時間が限られているため、巡回指導等を有効に実施し、生徒の規範意識だけでなく、自己肯定感等を高める良い機会にしていきたい。 ②コロナ禍での学校行事について、検討しなければいけない。教育相談体制は整っており、今後も一人一人の生徒への個別の支援が求められる。 ①生徒の自立・自律を支援する教育相談などを有機的に実施する。また養護非常勤の意義を検証し、継続していきたい。 ②学校説明会や入学相談等においては引き続きHPを活用して、さらに実効性を高めていくことが課題である。
	【単位制による定時制の課程】 ① 安心、安全な学習環境はほぼ確立されている。さらに生徒の規範意識を高め、学習に向かう姿勢を育てていくために、引き続き全職員が共通の認識をもって生徒の指導に当たることが重要である。 ② 教育相談体制の整備により、生徒への支援は充実しているが、様々な背景を持つ生徒も多く支援をさらに充実させることが求められる。		① 生徒の規範意識を高め、学習に向かう姿勢を育てていくために、引き続き全職員が共通の認識をもって生徒の指導に当たることが重要である。 ② 教育相談体制の整備により、生徒への支援は充実しているが、様々な背景を持つ生徒も多く支援をさらに充実させることが求められる。	①「学びたい意欲」を大切にし、よりよい学習環境を実現するために全教職員が個々の生徒の状況を踏まえつつ、共通理解を持ち指導にあたる。 ②地域や保護者への発信を積極的に行い、また、地域や学校内外の人材を活用し、教育相談の視点からの生徒への支援を充実することで、生徒の学ぶ意欲を支える。	<input type="checkbox"/> 卒業時の学校満足度の向上 95.6%	行事については、参考となる回答が得られなかった。マナーやけじめなどの規範意識向上については健闘した結果である。 ⑤マナーやけじめのある学校生活 94.4% (前年比-3.7) ⑥自己理解、力を伸ばす取組 66.0% (-1.9) ⑦学校行事参加率/満足度ともデータ不足により評価できず。 ⑧部活動参加率/満足度 9.4% (-8.3) / 84.8% (-7.1) ⑨思いやり、気配りができる 90.7% (-4.0)	A	①HRの時間が限られているため、巡回指導等を有効に実施し、生徒の規範意識だけでなく、自己肯定感等を高める良い機会にしていきたい。 ②コロナ禍での学校行事について、検討しなければいけない。教育相談体制は整っており、今後も一人一人の生徒への個別の支援が求められる。 ①生徒の自立・自律を支援する教育相談などを有機的に実施する。また養護非常勤の意義を検証し、継続していきたい。 ②学校説明会や入学相談等においては引き続きHPを活用して、さらに実効性を高めていくことが課題である。
【通信制の課程】 ①多くの生徒は、学習に前向きに取り組んでいるが、学習に難しさを感じている生徒もいる。 ②進路希望実現のために、外部の教育力の活用を図り、進路意識を高める必要がある。	①生徒が意欲的、計画的に学習を進められるよう指導法を改善する。 ②生徒が進路希望を実現できるようキャリア教育を改善する。	①生徒が意欲的に授業に取り組めるように、レポートや授業、連絡方法について、工夫、改善するとともに、質問、補習等の体制を充実させる。 ②学習サポーター、ハローワークなどの外部の教育力の活用を推進する。	(参考昨年度数値) <input type="checkbox"/> 学習手帳や学習ガイドブック、受講ガイドブックを活用している生徒の割合 83.3% <input type="checkbox"/> 授業やスクーリングに意欲的に取り組んでいる生徒の割合 86.2% <input type="checkbox"/> 学力の伸長を実感できた生徒の割合 71.8% <input type="checkbox"/> 進路実現や高校卒業に向けて積極的に取り組んだ生徒の割合 60.8% <input type="checkbox"/> 単位修得率の向上 <input type="checkbox"/> 卒業時の学校満足度の向上 95.6%	生徒アンケートの結果、手帳・ガイドブックの活用以外はすべてマイナスである。新型コロナウイルス感染症対策の影響と考えられる。 ※①から⑩は3課程の生徒アンケートの数値である。 ①手帳、ガイドブックの活用 84.6% (前年比+1.3) ②授業への意欲的な取組 79.0% (-7.2) ③学力伸長の実感 69.1% (-2.7) ④進路決定への積極的な取組 53.9% (-6.9) ⑩学校満足度(総合) 91.9% (-3.7)	B	①今年度導入した Google Classroom を本格的に活用し、ICT教育を推進し、生徒の主体的な学習態度を構築したい。 ②外部教育力のより効果的な活用のために、生徒のニーズの把握に努める必要がある。 ①通信制のシステムが有効活用されるために整備した単通メール等を中心に、生徒や保護者間のコミュニケーションを図り、ICT教育を含めた教育活動の充実が課題である。 ②学校行事の工夫を行い、生徒会活動や部活動を継続したい。また、学習サポーターや就職支援アドバイザーの活用をさらに充実させていくことが課題である。		
【単位制による通信制の課程】 ①通信制教育システム、かつ、学力差が大きい中、いかに学習習慣をつけさせるか。学力状況をどう把握・分析し、最適な学習を指導するかが課題。単位修得率の向上や卒業生数のさらなる増加が必要である。 ②特別活動や進路指導を通して、卒業後の自立につながるようにしていくことが必要である。	① 様々な講座を開設し、生徒の学習希望や需要に対応するとともに、新型コロナウイルス感染症対応を含めた社会の要請に適切に対応しつつ本課程の教育システムの持続可能性を高める。 ② 履修指導、面談、進路に関する説明会等の機会を活用して、生徒の進路意識を高め、自ら行動を起こせるように支援する。	<input type="checkbox"/> マナーある行動、けじめのある学校生活を送っている生徒の割合 98.1% <input type="checkbox"/> 自分のよさや課題を理解し、自分の力を伸ばそうと取り組んでいる生徒の割合 67.9% <input type="checkbox"/> 特別活動 ・参加率 32.1% ・満足度 95.3% <input type="checkbox"/> 部活動 ・参加率 17.7% ・満足度 91.9% <input type="checkbox"/> 思いやりの気持ちを持ち、他の人に対する気配りができる生徒の割合 94.7%	<input type="checkbox"/> 卒業時の学校満足度の向上 95.6%	行事については、参考となる回答が得られなかった。マナーやけじめなどの規範意識向上については健闘した結果である。 ⑤マナーやけじめのある学校生活 94.4% (前年比-3.7) ⑥自己理解、力を伸ばす取組 66.0% (-1.9) ⑦学校行事参加率/満足度ともデータ不足により評価できず。 ⑧部活動参加率/満足度 9.4% (-8.3) / 84.8% (-7.1) ⑨思いやり、気配りができる 90.7% (-4.0)	A	①HRの時間が限られているため、巡回指導等を有効に実施し、生徒の規範意識だけでなく、自己肯定感等を高める良い機会にしていきたい。 ②コロナ禍での学校行事について、検討しなければいけない。教育相談体制は整っており、今後も一人一人の生徒への個別の支援が求められる。 ①生徒の自立・自律を支援する教育相談などを有機的に実施する。また養護非常勤の意義を検証し、継続していきたい。 ②学校説明会や入学相談等においては引き続きHPを活用して、さらに実効性を高めていくことが課題である。		
【単位制による定時制の課程】 ① 安心、安全な学習環境はほぼ確立されている。さらに生徒の規範意識を高め、学習に向かう姿勢を育てていくために、引き続き全職員が共通の認識をもって生徒の指導に当たることが重要である。 ② 教育相談体制の整備により、生徒への支援は充実しているが、様々な背景を持つ生徒も多く支援をさらに充実させることが求められる。	① 生徒の規範意識を高め、学習に向かう姿勢を育てていくために、引き続き全職員が共通の認識をもって生徒の指導に当たることが重要である。 ② 教育相談体制の整備により、生徒への支援は充実しているが、様々な背景を持つ生徒も多く支援をさらに充実させることが求められる。	①「学びたい意欲」を大切にし、よりよい学習環境を実現するために全教職員が個々の生徒の状況を踏まえつつ、共通理解を持ち指導にあたる。 ②地域や保護者への発信を積極的に行い、また、地域や学校内外の人材を活用し、教育相談の視点からの生徒への支援を充実することで、生徒の学ぶ意欲を支える。	<input type="checkbox"/> 卒業時の学校満足度の向上 95.6%	行事については、参考となる回答が得られなかった。マナーやけじめなどの規範意識向上については健闘した結果である。 ⑤マナーやけじめのある学校生活 94.4% (前年比-3.7) ⑥自己理解、力を伸ばす取組 66.0% (-1.9) ⑦学校行事参加率/満足度ともデータ不足により評価できず。 ⑧部活動参加率/満足度 9.4% (-8.3) / 84.8% (-7.1) ⑨思いやり、気配りができる 90.7% (-4.0)	A	①HRの時間が限られているため、巡回指導等を有効に実施し、生徒の規範意識だけでなく、自己肯定感等を高める良い機会にしていきたい。 ②コロナ禍での学校行事について、検討しなければいけない。教育相談体制は整っており、今後も一人一人の生徒への個別の支援が求められる。 ①生徒の自立・自律を支援する教育相談などを有機的に実施する。また養護非常勤の意義を検証し、継続していきたい。 ②学校説明会や入学相談等においては引き続きHPを活用して、さらに実効性を高めていくことが課題である。		

学校関係者からの意見・要望・評価等

新型コロナウイルス感染症の影響
 下において、感染防止を始め、授業やスクーリングにおいてさまざまな工夫をして教育活動を継続していることに対して深く感謝いたします。また、学校からは引き続き様々な情報発信をお願いいたします。

◆学習指導
 ガイドブック等の利用率が高まり、学校からの指示や連絡に従って学習を進めた結果、例年以上に単位修得率や卒業生数が向上したことについて、高く評価する。

◆進路指導
 今年度は就職内定率の低下や大学入試の度重なる変更によって、卒業生に対して大変な1年であったと推察する。どの課程においても進路指導部を中心に、熱心に指導を行っていることは大変良いことであると感ずる。次年度以降も生徒との連絡手段のさらなる改善を進めて努力して欲しい。

◆生徒指導・教育相談
 新型コロナの感染防止を図る中で生徒のマナーやけじめのある行動が引き続き高い数字を保っていることを高く評価する。

◆学校行事・部活動等
 今期で最も残念であったのが、学校行事や部活動の縮小を余儀なくされたことである。懇話会に出席している生徒からも行事の削減や部活動の制限について残念であるという声があった。学校は学習活動だけで成立しているのではない。特別活動の意義は大きく、社会性を身に付ける意味で、本校のように通信制・定時制の生徒に対する教育効果は高いと感じている。今後このような状況が続くのであれば、工夫と改善を通して人格の完成を目指して尽力していただきたいと思う。